

■11月12日

国交省、羽田空港、国際線3万回の増便運用、昼間時間帯1時間当たり43回

国交省は、来年春からの羽田空港国際線年間3万回の増便後の運用について、6時から23時の昼間時間帯における1時間あたりの最大発着回数を(出発または到着)43回に柔軟化する方針を決めた。

日刊航空によると、出発(到着)便数が40回/時間を超えた場合は、その分の到着(出発)便数を減らして、出発・到着合計の最大値は80回/時間とする。羽田空港の1時間あたりの規制値は現在、出発・到着ともに37回で、合計74回。年間3万回の増便では、出発・到着合計の規制値を80回/時間へ引き上げることは決まっていた。出発・到着の最大値は当初、ともに40回/時間とされていた。しかし、国際線は、出発便もしくは到着便が偏る時間帯があり、規制値を柔軟化して、一時的に最大便数を増やす必要があると判断した。

(日刊航空)11/12

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

神戸空港、10月利用者数、前年同月比12.7%減

神戸市は11日、10月の神戸空港の搭乗者数が前年同月比12.7%減の19万1388人だったと発表した。相次ぐ台風の接近により欠航が31便に上ったことが影響した。また、路線網を充実させる格安航空会社(LCC)の影響を受けたとみられる。搭乗率は61.7%。

2カ月連続で前年比10%超の落ち込みとなるのは、2010年7月以来3年3カ月ぶり。

路線別では、鹿児島が前年同月比23.3%減、那覇が20.9%減などと低迷。主力の羽田も4.5%減だった。7月に就航した石垣線の搭乗率は26.1%と落ち込んだ。航空会社別は以下の通り。

(神戸新聞)11/12

<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201311/0006489742.shtml> (-> <http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/201311/0006489742.shtml>)

(神戸市 HP)

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/airport/img/HP25.10.pdf> (->

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/airport/img/HP25.10.pdf>)

*航空会社別利用状況

(平成25年度)

航空会社	内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ANA	旅客数	67,268	76,081	42,981	36,408	42,378	39,612	45,424
	前年比(%)	97.3%	99.4%	62.9%	52.0%	53.1%	48.9%	57.4%
	提供座席数	117,874	123,276	73,126	58,126	55,016	60,154	69,530
	利用率(%)	57.1%	61.7%	58.8%	62.6%	77.0%	65.9%	65.3%
SKY	旅客数	120,314	123,646	116,758	124,782	151,522	127,091	116,783
	前年比(%)	98.8%	99.8%	107.2%	97.5%	99.9%	87.3%	83.3%
	提供座席数	190,452	197,532	190,275	196,824	197,532	189,567	193,638
	利用率(%)	63.2%	62.6%	61.4%	63.4%	76.7%	67.0%	60.3%
SNA	旅客数	-	-	16,422	17,766	20,905	21,895	16,310
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-
	提供座席数	-	-	27,000	27,972	32,364	31,320	30,624
	利用率(%)	-	-	60.8%	63.5%	64.6%	69.9%	53.3%
ADO	旅客数	-	-	4,124	11,848	13,750	13,686	12,871
	前年比(%)	-	-	-	-	-	-	-
	提供座席数	-	-	5,040	15,624	15,624	15,408	16,632
	利用率(%)	-	-	81.8%	75.8%	88.0%	88.8%	77.4%
合計	旅客数	187,582	199,727	180,285	190,804	228,555	202,284	191,388
	前年比(%)	98.3%	99.6%	101.7%	96.3%	98.7%	89.3%	87.3%
	提供座席数	308,326	320,808	295,441	298,546	300,536	296,449	310,424
	利用率(%)	60.8%	62.3%	61.0%	63.9%	76.0%	68.2%	61.7%

注) SNA, ADOには共同運航(コードシェア)のANA分を含む。

スカイマーク、10月、旅客輸送実績、平均搭乗率66.1%

スカイマークはこのほど、2013年10月の旅客輸送実績を発表した。これによると、提供座席が前年同月比1.7%増加したのに対し、合計搭乗者数は同5%減少の55万1,424人だった。平均利用率は66.1%と前年同月と比べて、3.8ポイント上昇した。

路線別では、LCCと競合する成田路線の搭乗率は、成田—那覇線54.1%、成田—札幌線51.2%、成田—福岡線40.2%だった。また、成田—旭川線や石垣線は搭乗率が3割を切った。

(日刊航空)11/12

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(スカイマークプレスリリース)

http://www.skymark.jp/ja/company/investor_loadfactor.pdf (->

http://www.skymark.jp/ja/company/investor_loadfactor.pdf)

*スカイマークHPより

期	第18期(2013.4~2014.3)						
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
提供座席数	758,445	815,439	826,944	862,875	882,345	825,174	843,228
搭乗者数	490,856	515,526	528,904	608,097	704,032	623,250	551,424
L/F	65.1%	62.9%	65.2%	71.6%	80.2%	77.0%	66.1%
前年比	94.9%	97.2%	106.7%	102.4%	106.2%	100.2%	95.0%

三菱航空機、MRJ開発費、2000億円程度に膨らむ見通し

(日刊工業新聞によると)

三菱航空機の川井昭陽社長は11日、開発中の国産小型旅客機「三菱リージョナルジェット(MRJ)」の開発費が2000億円程度に膨らむとの見通しを明らかにした。事業化当初の計画より500億円超増える。量産初号機の納入が当初計画から3年半遅れ、人件費を中心に膨らむ。これに加え、遅れに伴う違約金を航空会社から求められる可能性もあり、全体の費用負担はさらに増える可能性がある。

MRJは2008年の事業開始当初は13年中の初号機納入を目指していたが、8月に公表した計画では17年4—6月と延期。川井社長は14年以降の開発費について「開発費の大半は人件費。年間200億円弱増える」とし、資金の拠出元については「(親会社の)三菱重工業と調整している」と語った。

開発費の増加分は、従業員1人当たりの費用を年間2000万円弱と設定し、これに従業員数の約1000人を掛けて算出した。MRJの事業化当初に想定した開発費は約1500億円。このうち3分の1を国が拠出する。同社は全日本空輸(ANA)の初号機の納入遅れに伴い、残りの米2社への納入時期も遅らせる。

(日刊工業新聞)11/12

<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0120131112agbi.html> (-> <http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0120131112agbi.html>)

大韓航空、熊本—仁川線、再び減便、原発問題の報道で韓国からの需要見込めず

大韓航空は11日、鹿児島—ソウル線を1日1便の運航より週3便に減便した。同路線は10月27日に、週3便から毎日運航に増便したばかり。当初の予定より需要が伸びなかったことが背景にある。

大韓航空鹿児島支店によると、日本の原発問題が今年の夏ごろ、韓国でテレビ報道された影響で、鹿児島だけでなく全国的に韓国からのツアー客が落ち込んでいる。同路線の2013年1—8月の平均搭乗率は65.5%だったが、毎日運航が始まってからは40%前後と伸び悩んでいた。

(南日本新聞)11/12

<http://373news.com/modules/pickup/index.php?storyid=52633> (-> <http://373news.com/modules/pickup/index.php?>

[storyid=52633](#))

アリタリア航空、コスト削減計画、2000人雇用削減

(bloombergによると)

イタリアの航空会社アリタリア航空のガブリエーレ・デル・トルキオ最高経営責任者(CEO)は、約2000人の雇用削減を含むコスト削減計画を準備している。同社の株主は3億ユーロ(約399億円)規模の資本増強に参加するかどうかを今週決める。事情に詳しい関係者3人が明らかにした。

アリタリアの取締役会が13日に協議する今回の提案には、早期退職奨励金や臨時職員の削減が含まれる可能性がある。公式発表前であることを理由に、関係者は匿名で語った。今回の措置はまだ話し合い中で、最終決定には至っていないという。アリタリアの当局者はコメントを控えた。

アリタリアの従業員数は約1万4000人。今年1-9月は1億6200万ユーロの営業損失を計上している。アリタリアの筆頭株主で同社に25%出資する航空会社エールフランス・KLM は、追加出資に踏み切るためにはアリタリアがまず債務を削減しなくてはならないとの考えを示している。

(bloomberg) 11/12

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MW3UZ26VDK1401.html> (-> <http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MW3UZ26VDK1401.html>)